

「伊那 MR スクエア」 事業概要

長野県 伊那市

伊那市は、地方創生推進交付金を活用した「地方創生アルカディア構想」戦略的シティープロモーション事業の一環で、KDDI株式会社とともに「伊那 MR スクエア」を制作しました。

これは、地域資源のローカルブランディングと、VR（仮想現実）やAR（拡張現実）、そしてMR（複合現実）の技術等を活用し、リアルとバーチャルを組み合わせ、移住定住に関する情報を集約したWEB上の仮想空間プラットフォームです。

ICTの急速な進化や社会情勢に応じた情報提供が必要となる中、コロナ禍においても生活様式が大きく変化しており、地方移住への関心の高まりや、移住定住希望者の情報収集の在り方なども変化してきています。

「伊那 MR スクエア」は、日ごろ移住定住相談窓口で、移住希望者等から問い合わせの多い内容を中心に情報を集約するとともに、テクノロジーをいかして移住希望者等に訴求力のあるみせ方としています。また、スマートフォンやパソコンなど端末に依存せず、いつでもどこでも手軽にアクセスできるため、欲しい時に必要な情報を得ることができます。さらに、利用者自ら「伊那 MR スクエア」の空間を動いて情報を得ているような体験をすることで、記憶に残りやすいものとしています。

「伊那MRスクエア」を通じて、伊那市の認知度向上やファンの増加、さらには実際に伊那市を訪れていただくような関係人口から移住定住に繋げていくとともに、市民の皆さんには、地域の魅力の再発見や郷土愛の醸成に繋げていきます。



制作の背景

伊那市では移住定住に関する様々な取り組みを展開しており、日常の窓口相談や情報発信等のほか、定期的に関東方面や中京、関西方面での移住セミナーなどに参加してまいりました。また、コロナ禍により、セミナーなどが中止となるなか、伊那市では、単独でオンライン相談やオンラインセミナーを開催するなど積極的に取り組んできています。

今回、新たな情報発信や伊那の魅力を体験していただくツールとして、時間や場所を問わずに伊那市の「暮らし」「学び」などの情報を提供できる新たなツールの制作を試みました。コロナ禍で全国的な移動制限などが行われていたなか、移住希望者等が直接伊那市を訪れたり、小学校の見学や田舎暮らしモデルハウスに宿泊したりする機会が減っていた現状もあったため、この「MRスクエア」制作の必要性を改めて感じています。

伊那 MR スクエアへのアクセス方法

下記、URL からアクセスすることができます。

<https://ina-mrsquare.jp/>

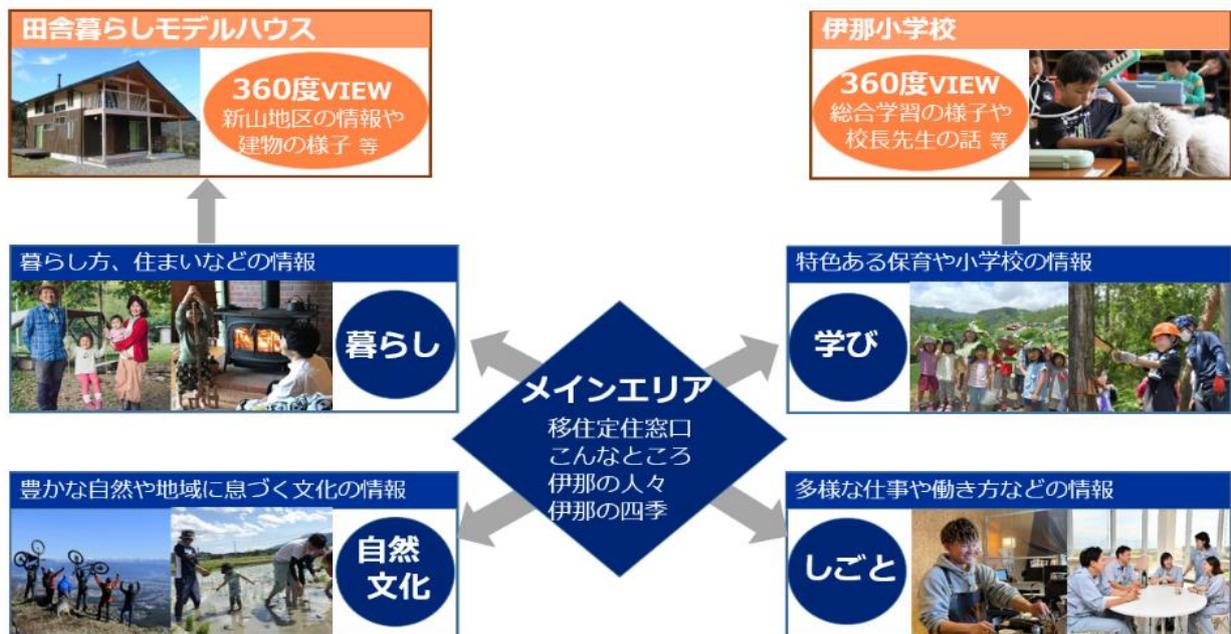
※伊那市公式ホームページや伊那市移住定住応援サイトなどからアクセスできます。今後、関係機関サイトにバナー掲載等を行うほか移住セミナーや移住イベントチラシ等にも QR コードを掲載するなど多方面からアクセスできるようにします。



「伊那 MR スクエア」

伊那 MR スクエアの内容

- ・ 2つのアルプスが見える伊那らしい景観上に設置
- ・ メインエリアには相談窓口や先輩移住者の情報など移住定住に直結する内容を集約
- ・ 4つのサブエリアは「暮らし」「学び」「自然文化」「しごと」をテーマに、市保有の既存プロモーション映像や写真素材などをおさめている
- ・ 「田舎暮らしモデルハウス」と「伊那小学校」は、360度映像により現地に行った感覚で楽しめる
- ・ 「伊那小学校」は、小学校等の協力により、総合学習を中心にしたリアルな学校生活の様子を写真や動画で紹介している
- ・ 情報にアクセスする際、MR 技術等を活用して自ら空間を動いて情報を取得する体験を味わうことで、記憶に残りやすいものとし、新しい体験価値を届ける



地方創生アルカディア構想（令和元年度～令和3年度）

移住定住の促進や人口増加に向け、結婚・出産・子育て世代をターゲットとしたアメニティ定住プロジェクトとして、AIやLINEの活用のほか、シェアリングエコノミー、生活適地への立地誘導、XR 技術を活用した戦略的シティープロモーションなどの各事業に取り組んでいる。

・戦略的シティープロモーション

○本年度事業費 9,955,000円 (地方創生推進交付金 補助率 1/2)

○受注事業者 KDDI株式会社 ○運用開始 令和4年5月10日

【本資料に関する問い合わせ】

企画部地域創造課人口増推進係 志知貴文 CN・浦野真由美
電話：0265-78-4111 (2155) mail: jkz@inacity.jp